

5月29日(火)

型をやぶる

聖書朗読 創世記 6：1～13

しかし、ノアは、主の心にながっていた。

創世記 6：8

「他のみんなはやってるよ!」。そんな言い訳を聞いたことはありませんか? 同僚の会話を聞いているとき、そう考えたことはありませんか? 今日の文化の中では、私たちだけが正しいことをしようとしているように感じるの簡単です。もし、今までにそう感じる権利のある人がいたとすれば、それはノアです。彼は実際、ただ一人正しいことをしようとした人でした。彼は世界に順応するよりも、主の目にながうことに、より気をかけていたのです。

同じ信念がローマ人への手紙12章で、パウロがクリスチャンたちに、神様に仕えることから引き離そうとする環境を認めないように思い出させる所で登場します。ローマ人への手紙12：2は私たちにこう注意します。『この世と調子を合わせてはいけません。いや、むしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえ知るために、心の一新によって自分を変えなさい。』ここでの言葉はよくこう言い換えられます。「この世に、自分をその型に押し込めさせてはいけません」と。神様に従うとき、私たちは型をやぶるのです。

他のみんなが違う生き方をしているように感じる時、私たちはどうするでしょうか? 私たちは神様のみことばにより心を新しくするのです。私たちは自分自身に対して、神様のみこころを思い起こさせます。私たちは周りの世界ではなく神様の御心にながうことを探し求めるのです。

讚美歌 第二編 188

祈り 親愛なる主よ。この世界はがっかりさせる場所かもしれません。私たちがあなたのみことばにより頼み、自分の心を新しくし、世界が私たちをその型に押し込もうとするのを拒絶することを助けてください。私たちは今日、あなたのみこころを求めます。

イエス様の御名により。アーメン。

アンドリュー・フィリップス
テネシー州 コロンビア

5月30日(水)

異常

聖書朗読 創世記 6：5～22

ノアは、正しい人であって、その時代にあっても、全き人であった。

創世記 6：9

クリスチャンラッパーのラクレーは「異常」という深い歌を持っています。「私たちは変わっている。浮浪者であり、異様であり、見知らぬ人だ。そして人々は異常だという。私たちは適合しない。しかし私は言う。『私たちはまさに、神様がこうあるようにと創られた者である』と。」

ラクレーの歌は創世記6：5～22の物語をとらえています。ノアの世界は墮落と不正に満ちていました。人間の悪行は神様の心を悲しませました。それゆえ、神様は人類を地球の表面から消し去ることを誓いました。

しかし、ノアは『正しい人であって、その時代にあっても、全き人であった。』(創世記6：9)。ノアは異常でした。彼はこの世的な道徳の性質に反発したのです。

神様は同様に、私たちも異常であるようにと呼びかけます。私たちは不道徳な世界の中で道徳的であり、不信仰な文化の中で敬虔であり、愛のない環境の中で愛するものであるべきです。本当は、部外者が私たちについて、「私たちは適合しない」というべきなのです。パウロが指摘したように、主は私たちに暗やみの世界の中で「星のように輝く」ことを求めているのです。

讚美歌 第二編 1

祈り この暗やみの世界の中をあなたとともに歩むとき私を力づけてください。

イエス様の御名により。アーメン。

エドワード・J・ロビンソン
テキサス州 テレル

5月31日(木)

争いをなくそう

聖書朗読 創世記13:1~9

どうか私とあなたとの間・・・に、争いがないようにしてくれ。私たちは、親類
同士なのだから。 創世記 13:8

アブラハムの心はなんと偉大なのでしょう！彼は神様に対して真の信仰を持ち、真の信仰は常に人を仲間との関係を愛のうちに対処するように導きます。真の信仰は寛大です。アブラハムは自らの権利を主張することもできました。彼はロトよりも年上でした。彼は神様の導きでこの地に来ました。神様は彼にこの地を約束されました。彼の助けがロトに財産を与えたことは疑いありません。しかし徹底した無欲さによって、彼はロトに「すべての土地から自分のものを選んでよい、自分は残ったもので構わない」といったのです。ロトは、アブラハムが寛大であったのと同じくらい物質主義でした。彼は豊かで肥沃なヨルダン谷を見て、おじの権利や必要を無視して『ソドムの近くまで天幕を張った』。この選択において、彼は自分自身の霊的な必要や、ソドムが自らの子どもたちに与える悪い環境も無視しました。

アブラハムは問題が起こる前に知恵ある行動を見せました。彼は「他者を優先する敬意のうちに」真の愛による礼儀と機転を示しました。こういったことすべてにおいて彼は理想的な人物でした。平和的で、気前がよく、謙遜で親切でした。彼は神様の友でした。今日の聖書箇所を暗記して、自分の家族の中で実行してみましょう。親類同士なのですから、家族の中で問題がないようにしましょう。教会にもこのことをあてはめましょう。親類同士なのですから、教会の中に争いがないようにしましょう。

讚美歌 第二編 71

祈り お父様、私たちがお互いに真の愛をもって接するように助けてください。
イエス様の御名により。アーメン。

ヘレン・M・ヤング 1957

6月1日(金)

神様はより多くを見る

聖書朗読 創世記 27:18~29

神様の祝福は、無代価の贈り物として、信仰によって与えられるのです。ユダヤ人の習慣に従うか否かに関係なく、アブラハムと同じ信仰を持っているなら、神様の祝福を確実にいただけるのです。信仰の面から言えば、アブラハムは、私たちみんなの父です。 ローマ4:17 (リビングバイブル)

あなたは彼を知らなかったのですが、彼のような人を知っています。神様の心を持つ頭脳明晰な人物です。それはクレストンです。

神様が何年も前にクレストンの家を取られたので、私は彼がいないのを寂しく思っています。よく、私はこう考えている自分に気づきます。「クレストンならこの状況でどうするだろう？」彼は頭がよく、他人の中により多くのことを見る能力がありました。神様もまた、より多くを見ます。

今日の聖書箇所では嘘をつくヤコブを見ますが、神様はなにかより多くの、より良いことを見ます。神様は人類を救うためのご自身の計画の一環としてお用いになる人を見たのです。聖書の様々なページでそれは起こっています。浮気性の人殺しダビデを「神様の御心にならう人物」として。遊女ラブを「信仰の女性」として。怒りっぽい裏切者ペテロを「教会のリーダー」として。

鏡をのぞいてみてください。何が見えますか？弱さ？失敗？罪？神様に感謝しましょう。神様はより多くを見ておられます。神様はご自身の栄光のために用いようと計画している人物を見ておられるのです。私たちは弱い瞬間に定義されるのではなく、私たち自身にかかわらず、神様が用いようとお考えになるときに定義されるのです。

讚美歌 9

祈り 主よ。私は何者でもありません。あなたがより多くを見てくださることに感謝します。私を今日、あなたの御名の栄光を表すために用いてください。

イエス様の御名を通して。アーメン。

ジョン・ダンカン

ニューメキシコ州 ルイドソ

6月2日(土)

自 分 の 罪 を 見 る

聖書朗読 出エジプト 32:1~10

もし、罪はないと言うなら、私たちは自分を欺いており、真理は私たちのうちに
ありません。
Iヨハネ 1:8

今まで罪に引き戻されている自分に気づいたことはありますか？ それを正当化しようとしている自分をみつけたことがありますか？ 「ああ、結局は私はただの人間なんだな」「私は完璧にはなれないよ」と。難しいことに、これらの主張は事実です。私たちは、ちょうど昔のイスラエル人と同じように、罪に陥りがちです。私たちは弱く、誘惑に勝てません。私たちは礼拝のために金の仔牛は作らないかもしれませんが、神様のやり方の代わりに「自分たちのやり方」をしてしまいます。何度も、何度も。

神様以上に、私たちが本当はどんなものなのか知っている人はいません。それが、神様が独り子を遣わされた理由なのです。すなわち、私たちは自らの良心に頼ることができず、私たちにイエス様がいなくてはならなかったからです。私たちは完璧にはなれません。それでも、キリストは私たちに自分ようになるようにと言いました。私たちはこの世界の中にいますが、この世界に属しているわけではありません。私たちがこの世界を超えたところにいるのです。

それは「靴紐の救い」ではありません。これは新しい人生なのです。私たちはいつも正しく行動できるわけではないでしょう。私たちは何度も失敗します。そしてキリストは、私たちが悔い改めればいつでも赦す準備ができていらっしやいます。私たちは自分自身や神様に対して、自分の墮落について正直でいなければいけません。私たちは自らの罪を認めることに対して無神経になってはいけません。

あなたの中に弱められ、光のうちに引き出されて癒されるべき、隠れたしみはありますか？ 神様は今日この時、あなたを完全にしたいという望みと力を持っておられます。真実は、キリストの力によって私たちは罪に死に、神様に生きるとのことです。

讃美歌 493

祈り お父様。あなたの愛と理解に感謝します。私の罪を赦してください。特に私たちが自分の金の仔牛に気づいていない時に赦してください。

イエス様の御名により。アーメン。

ヘレン・M・ヤング 1983

6月3日(日)

不 安

聖書朗読 申命記 34:1~12

心に不安のある人は沈み、親切なことばは人を喜ばす。 箴言 12:25

私たちはみんな「降れば土砂降り」という表現を聞いたことがあります。この言葉は通常、問題や失望が私たちの上に重くのしかかってくることを指します。私たちは時々「タオルを投げ」たり、その問題が過ぎ去るまで布団の中に隠れたりしたくなります。もし私たちが、自分や愛する人たちの生活に忍び寄ってくる問題をはねのけられるとしたら素晴らしいではないでしょうか？ テレビ、新聞、ソーシャルメディア、あらゆるメディアが毎日たくさん問題を報道しています。

ヨブ記は私たちに、子どもを失い、持ち物を失い、健康を失い、友達すらも同情してくれないという災難に遭った人物について語ってくれます。しかしそれは物語の結末ではありませんでした。神様は彼をそれまで以上に祝福してくださったのです。

私たちは人生の中で不幸や難しさ、失望に出会うかもしれませんが、素敵な時間も経験します。

不安に不安を重ねたチャーリー・ブラウンのようにはならないようにしましょう！ その代わりに、自分たちの問題について祈り、主に自分を明け渡しましょう。神様は私たちのことを気にかけてくださっているのです、そうするように言ってくださいました！

讃美歌 321

祈り 親愛なるお父様。私たちが不安や恐れや心配の中にいる時、助けてください。私たちが難しい状況の中でもあなたを信じる強い信仰を持てるよう助けてください。

イエス様の御名により。アーメン。

カータ・ウィンター

カリフォルニア州 サン・ディエゴ